

意見書案第 6 号

「安保法案」の撤回・廃案を求める意見書案を提出するにつ
いて

宇治市議会会議規則第 14 条第 1 項の規定により、見出しの議案
を別紙のとおり提出する。

平成 27 年 7 月 3 日提出

提出者 宇治市議会議員 水 谷 修

同 大 河 直 幸

同 松 峯 茂

同 服 部 正

同 浅 井 厚 徳

同 秋 月 新 治

宇治市議会議長 石 田 正 博 様

「安保法案」の撤回・廃案を求める意見書

政府は、昨年7月、集団的自衛権の行使を容認する憲法解釈変更を閣議決定し、自民・公明両党は、戦後最長の95日間の会期延長を行い、安保法案の成立を強引に進めようとしている。

安保法案は、衆議院憲法審査会が開催をした地方公聴会でも、意見陳述をした6人中5人が違憲の立場から見解を示し、近時の世論調査（共同通信6月20日、21日調査）では安保法案について、反対との回答が58.7%、今国会での成立に反対は63.1%とされている。

国民の理解や合意もないままに進めようとしており、立憲主義に反した許しがたい暴挙である。圧倒的多数の国民が、反対、もしくは、今国会で成立の強行をするべきでないと考える。

よって政府におかれては、今国会での「安保法案」の撤回を強く求めるものである。

また、国会におかれては、「安保法案」を廃案にするよう強く求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年7月 日

京都府宇治市議会議長 石 田 正 博

衆議院議長	大 島 理 森 様
参議院議長	山 崎 正 昭 様
内閣総理大臣	安 倍 晋 三 様
外務大臣	岸 田 文 雄 様
防衛大臣	中 谷 元 様